

一般質問

・犯罪被害者支援について
・ハラスメント対策について



齋藤佳子

問 犯罪被害者等支援条例の制定について、今後の見通し

は

答 犯罪被害者等が安全で安心して暮らせる地域社会の実現のため、現在、条例の内容を精査しており、令和5年の市議会2

月定例会へ条例案を上程し、令和5年4月の条例施行に向けて準備を進めているところです。

問 ハラスメント対策について
市長と教育長のお考えは

答 令和2年8月5日「御前崎市職員の職場におけるハラスメントの防止等に関する要綱」

を制定し、同年9月に「御前崎市職員ハラスメント防止指針」を策定いたしました。これらをもとに研修会を開催して、ハラスメントへの知識及び関心を高めるとともに、さまざまな価値観を持った職員におけるハラスメントの火種を察知して、大きなトラブルに発展する前に対処できるよう、苦情相談窓口を設置しております。ハラ

スメント問題には毅然とした態度で対処するとともに、職員同士のコミュニケーションを深め、職員各位の意見や問題が職場内で共有されるよう、風通しの良い職場づくりに取り組んでまいります。

静岡県教育委員会では、学校や職場におけるハラスメントを防止し、児童生徒、教職員、保護者などの人格が尊重され、その能力を十分に発揮できるような良好な学習環境づくり、職場環境づくりを促進するために、令和2年9月に「ハラスメントの防止等に関する指針」を策定しています。市内の各学校では、県の指針に基づき、校内研修や職員会議においてハラスメント防止の取組が進められているところですが、今後一人一人の教職員が、その人の持つ良さと能力を最大限に発揮し、子どもたちによりよい教育を提供するためにも、ハラスメントのない温かい職場環境の構築に努めてまいります。

一般質問

・可燃物専用指定袋について



名波和寛

問 私の地区で環境整備事業の川土手の草刈りに参加した際に、数名の市民の方から「ごみ袋について以前から疑問がありました」というお話をいただきました。近隣他市では、可燃物専用指定袋に20リットルの可燃物専用指定袋があるそうです。御前崎市には「なぜないのか」ということで、お話を聞いている中では、20リットルの可燃物専用指定袋も必要だと思いましたが、聞いたところによりますと、牧之原市御前崎市広域施設組合環境保全センターが行う業務であるため、単独では対応が出来ないということでした。が、まずは試験的に出来ないものなのか、市長の考えを伺う

答 この指定ごみ袋については、組合が要綱に基づき作成し、組合の手数料条例により収集手数料をごみ袋の代金に含み販売しております。従いまして、容量の少ないごみ袋を新たに作る場合は、組合において条例と要綱の改正が必要となることが考えられ

ます。このことから試験的に実施する場合でも牧之原市と足並みをそろえて進めていく必要があると考えております。しかし、近年の多様な社会状況を鑑み、単身世帯や高齢者世帯などから、容量の少ないごみ袋のニーズがあることは認識しており、広域施設組合へは、副市長から改めてごみ袋について検討するよう要望を伝えていただいております。



ごみ集積所